鹿児島市立桜丘中学校
令和4年4月22日

第1号

令和４年度のスタートにあたり

校長　上久保大介

４月６日(水)午前、**２年生１５４名**、**３年生１３４名**による**始業式**が行われました。午後からは**新入生１３７名を迎えての入学式**が行われ、**計４２５名**による令和４年度の鹿児島市立桜丘中学校の教育活動が始まりました。とは言いながら、今年もいまだ衰えを知らないコロナ禍の影響を受け、ソーシャルディスタンスを守りながらの始業式、保護者等の入場を制限しての入学式でしたが、春の日差しは穏やかで、**「始まり」**と言う言葉に、何かしら**心躍らされる思いの初日**でした。

さて，**中学生の時期**は，多くの場合，最も**波瀾万丈の成長を遂げる時期**です。急激な**体の変化**や**内面的な変化**により，しばしば**心が不安定**になったり，**根拠のない自信**に支配されるのもこの時期です。逆に，人生の中で，**最も多くのことを吸収**できるのもこの時期であるため，私たち大人はいかに子供の不安を取り除き，多くのことを学ばせるようにするかが，**人生の先輩としての責任**でもあるといえます。

そこで，子供たちに有意義な中学校生活を送ってもらうため，今年の始業式，入学式では２つの言葉を使って同じような内容の話をしました。以下、その要約です。

二つだけ心に刻んでほしい言葉がある。一つ目は**「素直」**と言う言葉。中学校生活では楽しいことや面白いことがたくさんあるが、悩んだり、迷ったり、嫌なことやつらいこともある。そういうときこそ、**周りの声を「素直」に受け止め、自分を見つめ結論を導き出してほしい。**

二つ目は**「一途」**と言う言葉。解決の方法が見つかったら**「一途」に行動**してほしい。「一途」に努力している途中で、疑問や間違いに気づいたときは**「素直」に認め**、修正をしてほしい。修正したら**再び「一途」に取り組む**。この**「素直」な態度と「一途」な取組のバランス**により心の成長が促され、学力や体力、生活力が向上し、中学校生活が豊かになっていくことになる。

本校においては**「自主の鐘」の校訓**のもと、自ら率先して取り組み、たゆまぬ努力をし続ける生徒になってほしいという願いを込め、厳しくとも愛情を持った指導に努めてまいりたいと考えています。今年も、学校、保護者、地域が一体となり、**「生徒の夢実現に向けて、考え、判断し、行動する生徒の育成」**を目指した教育活動ができますよう、願っています。本年度もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。